



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月10日

上場会社名 あすか製薬ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4886 URL https://www.aska-pharma-hd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 隆
 問合せ先責任者 (役職名) グループ経営企画部長 (氏名) 小林 秀昭 TEL 03-5484-8366
 定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 2024年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	62,843	3.9	6,500	27.3	6,522	24.6	7,545	78.0
2023年3月期	60,461	6.8	5,108	6.5	5,232	7.2	4,238	△1.2

(注) 包括利益 2024年3月期 8,127百万円 (35.8%) 2023年3月期 5,983百万円 (20.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	266.51	—	13.0	7.3	10.3
2023年3月期	150.08	—	8.2	6.1	8.4

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 △41百万円 2023年3月期 △19百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	90,745	61,930	68.2	2,186.10
2023年3月期	87,138	54,533	62.6	1,928.14

(参考) 自己資本 2024年3月期 61,930百万円 2023年3月期 54,533百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	1,486	1,706	△3,943	16,738
2023年3月期	3,351	△1,126	△1,820	17,505

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00	452	10.7	0.9
2024年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	1,133	15.0	1.9
2025年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00		28.3	

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	0.2	6,700	3.1	6,700	2.7	5,000	△33.7	176.50

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	30,563,199株	2023年3月期	30,563,199株
2024年3月期	2,233,957株	2023年3月期	2,280,061株
2024年3月期	28,313,370株	2023年3月期	28,239,747株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

2. 当社は、2024年5月22日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する資料につきましては、決算説明会開始までに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本的方針および当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(会計上の見積りの変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. 補足情報	16
(1) 事業会社の主力品の売上高	16
(2) 臨床開発の状況	17
(3) [連結] 設備投資、減価償却費、研究開発費	18

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度においては、国内の経済活動の持ち直しなどを背景に景気の緩やかな回復基調が続きましたが、不安定な国際情勢、インフレ圧力と欧米各国の金融引き締めや急激な為替変動など、経営環境は引き続き先行き不透明な状況が続いております。また当社グループの中核となる医薬品事業におきましては毎年の薬価改定による影響などにより、引き続き厳しい事業環境にあります。しかしながらこのような状況下においても、当社グループの事業は新製品の伸長等により、前年度に引き続き堅調に推移しました。

当連結累計期間における当社経営成績は以下のとおりであります。

	2023年3月期 (百万円)	2024年3月期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	60,461	62,843	2,381	3.9%
営業利益	5,108	6,500	1,392	27.3%
経常利益	5,232	6,522	1,289	24.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,238	7,545	3,307	78.0%

当連結会計年度の当社グループの売上高は前年同期から2,381百万円増加し、62,843百万円となりました。これは主に、産婦人科領域の製品群が伸長した医療用医薬品事業の増収によるものであります。また売上原価率が前年同期比1.5%低下し、売上原価が32,178百万円となったことにより、売上総利益は前年同期から2,079百万円増の30,664百万円となりました。一方で販売費及び一般管理費は前年同期から687百万円増の24,164百万円となり、その結果、営業利益は前年同期から1,392百万円増の6,500百万円、売上高営業利益率は10.3%となりました。経常利益につきましては、営業外収益を414百万円、営業外費用を392百万円計上したことから6,522百万円となりました。また投資有価証券の売却に伴う特別利益を3,340百万円計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期から3,307百万円増の7,545百万円となりました。

なお、パートナーシップ強化を目的に、当社子会社のあすか製薬株式会社が持分法適用関連会社であるベトナム製薬企業Ha Tay Pharmaceutical Joint Stock Companyの新株発行契約に関わる増資を実行しました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①医薬品事業

内科、産婦人科、泌尿器科の3分野に注力している医薬品事業は薬価改定の影響を受けつつも全般的に堅調に推移しました。製品別にみると、産婦人科領域において子宮筋腫・子宮内膜症治療剤「レルミナ」が9,906百万円（前年同期比12.1%増）と順調に伸長したほか、2022年6月から販売を開始した月経困難症治療剤「ドロエチ」が6,125百万円（同66.3%増）と前年に続き大きく増加しました。さらに内科領域の主力品である甲状腺ホルモン剤「チラーヂン」が7,862百万円（同1.7%増）、難吸収性リファマイシン系抗菌薬「リフキシマ」も5,864百万円（同8.7%増）と着実に伸長しました。泌尿器科領域ではLH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤「リュープロレリン」が4,430百万円（同11.4%減）となりました。

以上の結果、売上高は56,016百万円（同4.5%増）、セグメント利益は7,647百万円（同32.3%増）となりました。

②アニマルヘルス事業

動物用医薬品、飼料添加物等の製品を販売しているアニマルヘルス事業においては、飼料添加物等の売上が減収であったものの、動物用医薬品の増収により、売上高は前年と同水準の6,664百万円（前年同期比0.0%増）となりました。一方で、原材料等のコスト上昇による影響を受け、セグメント利益は195百万円（同52.3%減）となりました。

③その他事業

臨床検査、医療機器等の各事業を展開しているその他事業については、売上高は162百万円（前年同期比26.3%減）、セグメント損失は125百万円（前年同期は6百万円の損失）となりました。

④研究開発の状況

研究開発につきましては、あすか製薬株式会社が重点領域と位置付ける内科・産婦人科・泌尿器科領域を中心とした創薬研究および臨床開発を推進すると共に、導出入活動、事業提携戦略も積極的に展開しております。

臨床開発につきましては、適応追加を進めていたL-105（リファキシミン）が、2024年3月に肝性脳症における高アンモニア血症の改善における小児に対する用法及び用量の追加に係る製造販売承認事項一部変更承認を取得しました。さらに避妊を適応症として開発中のLF111（ドロスピレノン）について、2025年3月期第1四半期中の製造販売承認申請に向け準備を進めております。また「4. 補足情報（2）臨床開発の状況」に記載のとおり、現在3つの臨床試験を進行中であります。杏林製薬株式会社と共同開発中のAKP-009（ルダテロン）についてはPhase II試験の段階にあり、追加のPhase I試験を実施中です。東レ株式会社と共同で開発を進めておりますTRM-270（癒着防止材）については、消化器科・産婦人科領域を対象にPhase III試験を実施しております。AKP-022（レルゴリクス配合剤）は2023年7月からPhase I / II試験を開始しました。

導入・提携活動においては2023年9月にサスメド株式会社と産婦人科領域における治療用アプリの共同研究開発及び製品上市後の販売に関する契約を締結しました。また2024年3月にRed Arrow Therapeutics 株式会社との妊娠高血圧症候群の新たな治療薬開発を目的とした共同研究契約を締結いたしました。

以上の取り組みから、2024年3月期の研究開発費は前年同期から500百万円増加し、4,728百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3,607百万円増加し、90,745百万円となりました。これは主に、販売権が減少しましたが、商品及び製品および投資有価証券が増加したためであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,789百万円減少し、28,815百万円となりました。これは主に、未払法人税等および買掛金が増加しましたが、退職給付に係る負債および長期借入金（1年内返済予定を含む）が減少したためであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7,396百万円増加し、61,930百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末から5.6ポイント上昇し68.2%となっております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ766百万円減少し、16,738百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、1,486百万円（前年同期は3,351百万円の増加）となりました。これは主に、退職給付に係る負債の減少はありましたが、税金等調整前当期純利益の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果増加した資金は、1,706百万円（前年同期は1,126百万円の減少）となりました。これは主に、投資有価証券の売却によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、3,943百万円（前年同期は1,820百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入金の返済によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループは2021年度からスタートした中期経営計画において、スペシャリティファーマを基盤とするトータルヘルスケアカンパニーを目指し、2025年度にグループ全体で売上高700億円、営業利益率8%、ROE 8%の目標数値

を実現することを掲げています。「（1）当期の経営成績の概況」に記載した通り、現時点において、グループ各社の取り組みにより、堅調な業績を維持しておりますが、今後も引き続き事業成長および目標実現に向けてグループ一丸となって取り組んでまいります。またサステナビリティ経営の一層の推進を図り、持続可能な社会の実現に貢献し、社会価値の創出による持続的成長と中長期的な企業価値向上を目指してまいります。

2025年3月期の通期連結業績予想について

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (2024年3月期)	翌連結会計年度 (2025年3月期)	増減額	増減率 (%)
売上高	62,843	63,000	156	0.2%
営業利益	6,500	6,700	199	3.1%
経常利益	6,522	6,700	177	2.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,545	5,000	△2,545	△33.7%

当社グループでの事業の主力となる医療用医薬品事業においては、毎年薬価改定の影響を受けるものの、産婦人科領域製品の伸長等により、連結売上高は63,000百万円（前年同期比0.2%増）を見込んでおります。利益面につきましては、研究開発費を中心とした費用増が見込まれるものの、償却費等の減少があることから営業利益は6,700百万円（同%3.1増）、経常利益6,700百万円（同2.7%増）と増益を見込んでおります。また2024年3月期に発生した有価証券売却益の反動があることから、親会社株主に帰属する当期純利益は5,000百万円（同33.7%減）と想定しております。

(5) 利益配分に関する基本的方針および当期・次期の配当

当社は、長期的な事業展開に備えた資金確保等を総合的に勘案しつつ、安定的な配当を継続することを基本方針としております。また内部留保につきましては、研究開発投資、生産設備投資など将来の持続的成長に向けた企業体質の強化のために活用しております。一方で収益に応じた適正な利益還元を行うことも、経営の重要課題であると認識しており、2023年11月に公表した「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」に基づき、今後は業績連動の利益配分方式に移行し、連結配当性向 30%を目安とすることとしております。

上記の方針に基づき、直近の業績推移を踏まえ、当期の期末配当金につきましては1株につき20円として、すでに実施いたしました中間配当金20円と合わせて年間配当金は1株あたり40円とさせていただきます。

また次期の利益還元につきましては、2025年3月期の年間配当金として、前期を10円上回る1株あたり50円（中間配当25円、期末配当25円）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,505	13,738
売掛金	15,217	15,579
有価証券	3,400	3,500
商品及び製品	10,815	12,578
仕掛品	429	466
原材料及び貯蔵品	6,443	7,358
その他	2,948	2,922
流動資産合計	53,759	56,143
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,949	10,005
減価償却累計額	△5,568	△5,813
建物及び構築物（純額）	4,381	4,192
機械装置及び運搬具	17,612	15,488
減価償却累計額	△16,266	△14,248
機械装置及び運搬具（純額）	1,346	1,240
土地	4,249	4,249
建設仮勘定	389	1,101
その他	3,636	3,762
減価償却累計額	△3,208	△3,283
その他（純額）	428	479
有形固定資産合計	10,796	11,263
無形固定資産		
販売権	3,673	2,110
その他	791	766
無形固定資産合計	4,465	2,877
投資その他の資産		
投資有価証券	14,385	15,654
繰延税金資産	1,717	2,696
その他	2,031	2,127
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	18,117	20,461
固定資産合計	33,378	34,601
資産合計	87,138	90,745

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,838	4,060
電子記録債務	3,022	3,295
短期借入金	300	300
1年内返済予定の長期借入金	3,138	4,680
未払金	4,947	5,794
未払法人税等	736	2,896
賞与引当金	1,142	1,151
役員賞与引当金	24	74
その他	1,498	1,715
流動負債合計	17,650	23,968
固定負債		
長期借入金	9,185	4,505
退職給付に係る負債	5,433	—
その他	335	341
固定負債合計	14,954	4,846
負債合計	32,604	28,815
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	1,847	1,848
利益剰余金	49,619	56,372
自己株式	△3,350	△3,287
株主資本合計	49,315	56,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,590	4,790
為替換算調整勘定	405	424
退職給付に係る調整累計額	222	584
その他の包括利益累計額合計	5,218	5,799
純資産合計	54,533	61,930
負債純資産合計	87,138	90,745

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	60,461	62,843
売上原価	31,876	32,178
売上総利益	28,584	30,664
販売費及び一般管理費	23,476	24,164
営業利益	5,108	6,500
営業外収益		
受取利息	0	4
受取配当金	338	330
その他	94	79
営業外収益合計	433	414
営業外費用		
支払利息	50	40
持分法による投資損失	19	41
為替差損	43	51
固定資産処分損	52	13
休止固定資産費用	53	91
不動産賃貸費用	6	55
ESOP信託負担金	51	—
その他	31	98
営業外費用合計	308	392
経常利益	5,232	6,522
特別利益		
投資有価証券売却益	124	3,340
特別利益合計	124	3,340
税金等調整前当期純利益	5,357	9,862
法人税、住民税及び事業税	1,108	3,514
法人税等調整額	10	△1,197
法人税等合計	1,118	2,316
当期純利益	4,238	7,545
親会社株主に帰属する当期純利益	4,238	7,545

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	4,238	7,545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,371	202
退職給付に係る調整額	144	362
持分法適用会社に対する持分相当額	229	16
その他の包括利益合計	1,745	581
包括利益	5,983	8,127
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	5,983	8,127

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,197	1,867	45,833	△3,479	45,419
当期変動額					
剰余金の配当			△452		△452
親会社株主に帰属する当期純利益			4,238		4,238
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△19		129	109
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	△19	3,785	129	3,895
当期末残高	1,197	1,847	49,619	△3,350	49,315

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	3,231	164	77	3,473	48,892
当期変動額					
剰余金の配当					△452
親会社株主に帰属する当期純利益					4,238
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					109
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,359	241	144	1,745	1,745
当期変動額合計	1,359	241	144	1,745	5,641
当期末残高	4,590	405	222	5,218	54,533

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,197	1,847	49,619	△3,350	49,315
当期変動額					
剰余金の配当			△792		△792
親会社株主に帰属する当期純利益			7,545		7,545
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		0		62	62
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	0	6,752	62	6,815
当期末残高	1,197	1,848	56,372	△3,287	56,130

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	4,590	405	222	5,218	54,533
当期変動額					
剰余金の配当					△792
親会社株主に帰属する当期純利益					7,545
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					62
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	200	18	362	581	581
当期変動額合計	200	18	362	581	7,396
当期末残高	4,790	424	584	5,799	61,930

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,357	9,862
減価償却費	3,127	2,662
退職給付に係る資産負債の増減額	△153	△5,262
受取利息及び受取配当金	△338	△335
支払利息	50	40
持分法による投資損益（△は益）	19	41
有形固定資産除売却損益（△は益）	6	2
投資有価証券売却損益（△は益）	△124	△3,340
売上債権の増減額（△は増加）	△742	△370
棚卸資産の増減額（△は増加）	△2,627	△2,713
仕入債務の増減額（△は減少）	△980	1,494
その他	322	642
小計	3,916	2,724
利息及び配当金の受取額	337	414
利息の支払額	△51	△41
法人税等の支払額	△850	△1,611
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,351	1,486
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	—	400
有価証券の取得による支出	△400	△500
有形固定資産の取得による支出	△461	△1,320
有形固定資産の売却による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	△285	△133
投資有価証券の取得による支出	—	△352
投資有価証券の売却による収入	190	4,230
関係会社株式の取得による支出	—	△1,464
その他	△170	845
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,126	1,706
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,423	△3,138
自己株式の純増減額（△は増加）	55	9
配当金の支払額	△452	△792
その他	—	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,820	△3,943
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△15
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	402	△766
現金及び現金同等物の期首残高	17,103	17,505
現金及び現金同等物の期末残高	17,505	16,738

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、医療用医薬品等の製造・販売および輸出入等を中心に事業を展開しており、「医薬品事業」および「アニマルヘルス事業」の2つを報告セグメントとしております。

「医薬品事業」は、主に医療用医薬品を製造・販売しております。

「アニマルヘルス事業」は、主に動物用医薬品、飼料添加物等の製品を製造・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部利益および振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	医薬品事業	アニマル ヘルス事業				
売上高						
外部顧客への売上高	53,579	6,660	220	60,461	—	60,461
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	77	77	△77	—
計	53,579	6,660	298	60,538	△77	60,461
セグメント利益又は 損失(△)	5,779	409	△6	6,181	△1,073	5,108
セグメント資産	40,135	3,031	42	43,209	43,928	87,138
その他の項目						
減価償却費	2,487	4	—	2,491	481	2,972

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,073百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に持株会社である親会社に係る費用であります。

(2) セグメント資産の調整額43,928百万円は、各事業セグメントに配分していない全社資産であり、主に事業セグメントに帰属しない当社の金融資産（現金及び預金、投資有価証券）および管理部門に係る資産であります。

(3) 減価償却費の調整額481百万円は、各事業セグメントに配分していない減価償却費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	医薬品事業	アニマル ヘルス事業				
売上高						
外部顧客への売上高	56,016	6,664	162	62,843	—	62,843
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	64	64	△64	—
計	56,016	6,664	226	62,907	△64	62,843
セグメント利益又は 損失（△）	7,647	195	△125	7,717	△1,216	6,500
セグメント資産	45,034	3,514	39	48,588	42,157	90,745
その他の項目						
減価償却費	2,227	4	—	2,231	201	2,432

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失（△）の調整額△1,216百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に持株会社である親会社に係る費用であります。

(2) セグメント資産の調整額42,157百万円は、各事業セグメントに配分していない全社資産であり、主に事業セグメントに帰属しない当社の金融資産（現金及び預金、投資有価証券）および管理部門に係る資産であります。

(3) 減価償却費の調整額201百万円は、各事業セグメントに配分していない減価償却費であります。

3. セグメント利益又は損失（△）は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として、同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

（単位：百万円）

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
武田薬品工業㈱	52,293	医薬品事業

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として、同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
武田薬品工業㈱	54,564	医薬品事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,928.14円	2,186.10円
1株当たり当期純利益	150.08円	266.51円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	4,238	7,545
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	4,238	7,545
期中平均株式数（千株）	28,239	28,313

従業員持株会信託口が保有する当社株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております（前連結会計年度8千株）。

また、「1株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（前連結会計年度32千株）。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

（1）事業会社の主力品の売上高

主 力 品 の 売 上 高
（ 2 0 2 4 年 3 月 期 実 績 ）

あすか製薬株式会社

（単位：百万円）

品 目 名	前 期	当 期	対前年増減率 (%)	次 期
	2023年3月期	2024年3月期		2025年3月期
	年間実績	年間実績		年間見込
子宮筋腫・子宮内膜症治療剤 レルミナ	8,839	9,906	12.1	11,251
高血圧症治療剤 カンデサルタン※	10,723	9,593	△ 10.5	8,626
甲状腺ホルモン剤 チラーゼン	7,733	7,862	1.7	8,018
月経困難症治療剤 ドロエチ	3,671	6,125	66.8	5,990
難吸収性リファマイシン系抗菌薬 リフキシマ	5,397	5,864	8.7	6,117
LH-RH誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤 リュープロレリン	4,999	4,430	△ 11.4	3,962
月経困難症治療剤 フリウェル	3,489	3,303	△ 5.4	3,101
黄体ホルモン製剤 ルテウム	1,251	2,029	62.1	2,106
抗甲状腺剤 メルカゾール	1,486	1,521	2.3	1,510
高血圧症治療剤 アムロジピン	901	840	△ 6.7	806

※ カンデサルタン配合剤を含む

あすかアニマルヘルス株式会社

（単位：百万円）

事 業 分 野 名	前 期	当 期	対前年増減率 (%)	次 期
	2023年3月期	2024年3月期		2025年3月期
	年間実績	年間実績		年間見込
飼料添加物、混合飼料、飼料原料	4,152	4,042	△ 2.7	4,031
動物用医薬品	2,370	2,487	4.9	2,534

（2）臨床開発の状況

臨床開発状況

（2024年5月現在）

2024年5月10日

あすか製薬株式会社

区分	(開発番号)	一般名	領域・効能	備考
申請準備中 ※1	(LF111)	ドロスピレノン	避妊	Insud Pharma(スペイン)より導入
PhaseⅢ	(TRM-270)	癒着防止材	術後の腹腔内臓器癒着防止 (消化器科・産婦人科)	東レ(株)との共同開発
PhaseⅡ	(AKP-009)	ルダテロン酢酸エステル	前立腺肥大症	杏林製薬(株)との共同開発
PhaseⅠ/Ⅱ	(AKP-022)	レルゴリクス配合剤	子宮筋腫	武田薬品工業(株)より導入

前回からの変更点

申請中の段階にありましたL-105：リファキシミン（肝性脳症、小児適応）につきましては、小児に対する用法及び用量の追加に係る製造販売承認事項一部変更承認を取得し、完了いたしました。

※1 LF111:ドロスピレノンにつきましては、国内第Ⅲ相臨床試験において避妊効果が検証されたため、申請準備を進めております。

(3) [連結] 設備投資、減価償却費、研究開発費

1. 設備投資

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
通 期	1,256 百万円	1,540 百万円	(予) 2,761 百万円

2. 減価償却費

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
通 期	3,127 百万円	2,662 百万円	(予) 2,268 百万円

3. 研究開発費

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
通 期	4,227 百万円	4,728 百万円	(予) 5,575 百万円